

中心市街地活性化施策調査報告書

期 日	平成29年10月31日（火）～11月 1日（水）
視察先	新潟県 新発田市
出席者	名切 文梨 議員、高橋 豊 議員、井上 武 議員、 松本 樹影 議員、寺岡 まゆみ 議員、高橋 知己 議員、 松田 則康 議員、田上 祥子 議員、武藤 慎一 参事兼議会総務課長
随行者	土井 副主幹
調査項目	新発田駅前複合施設「イクネスしばた」について
調査内容	<p>新発田市では、平成28年にまちの顔にちなみ、「目」に当たる「アイネスしばた（県立新発田病院跡地の公園）」、「鼻」に当たる「ヨリネスしばた（新市庁舎）」、「口」に当たる「イクネスしばた（新発田駅前複合施設）」を完成させ、「新生しばた」のスタートとしている。また、平成29年は市制施行70周年の節目の年となっている。今回の視察目的である新発田駅前複合施設は、市長が新発田駅前に電車やバスを利用する高校生が気軽に立ち寄れる場所がなく、読書や勉強のできる場所をつくってあげたいとの思いや、図書館機能を有するインフォメーションセンター建設の請願、天候を問わず子どもが遊べる場所が欲しいとの要望等があったことから、図書館、子どもセンター、キッチンスタジオ、多目的室、音楽練習室が入る形で整備した。人や活動を「つなぐ」ことをコンセプトに部屋の間仕切り等をガラス張りにするなど、明るくオープンな空間で、多くの市民が利用していた。行政棟と民間棟の2棟があり、行政棟の整備に約41億円かかっており、その財源には国土交通省の都市再生整備計画事業の中の地方都市リノベーション事業交付金を50%、残りはほぼ合併特例債を使い整備している。民間棟は建設時に一部、国費が入っているものの、民間で資金調達、所有、管理運営をしている。</p> <p>このほかにも、アイネスしばた（県立新発田病院跡地の公園）、ヨリネスしばた（新市庁舎）についても現地を視察し、新発田市のまちづくりについて学んできた。</p>
主な質疑	<p>Q 複合施設に市役所を入れる話はなかったのか。市役所と新発田駅前複合施設を分けた理由は。</p> <p>A 元々は市役所移転の話が先行していた。新発田駅前複合施設の方が後に整備される予定であったが、結果的に同時進行の形となった。また、複合施設は国の交付金を受ける関係もあり、新市庁舎と一緒に考えていなかった。この新発田駅前複合施設は市長がいう高校生の居場所づくりと図書館の相性がよいので現在の形となった。</p>